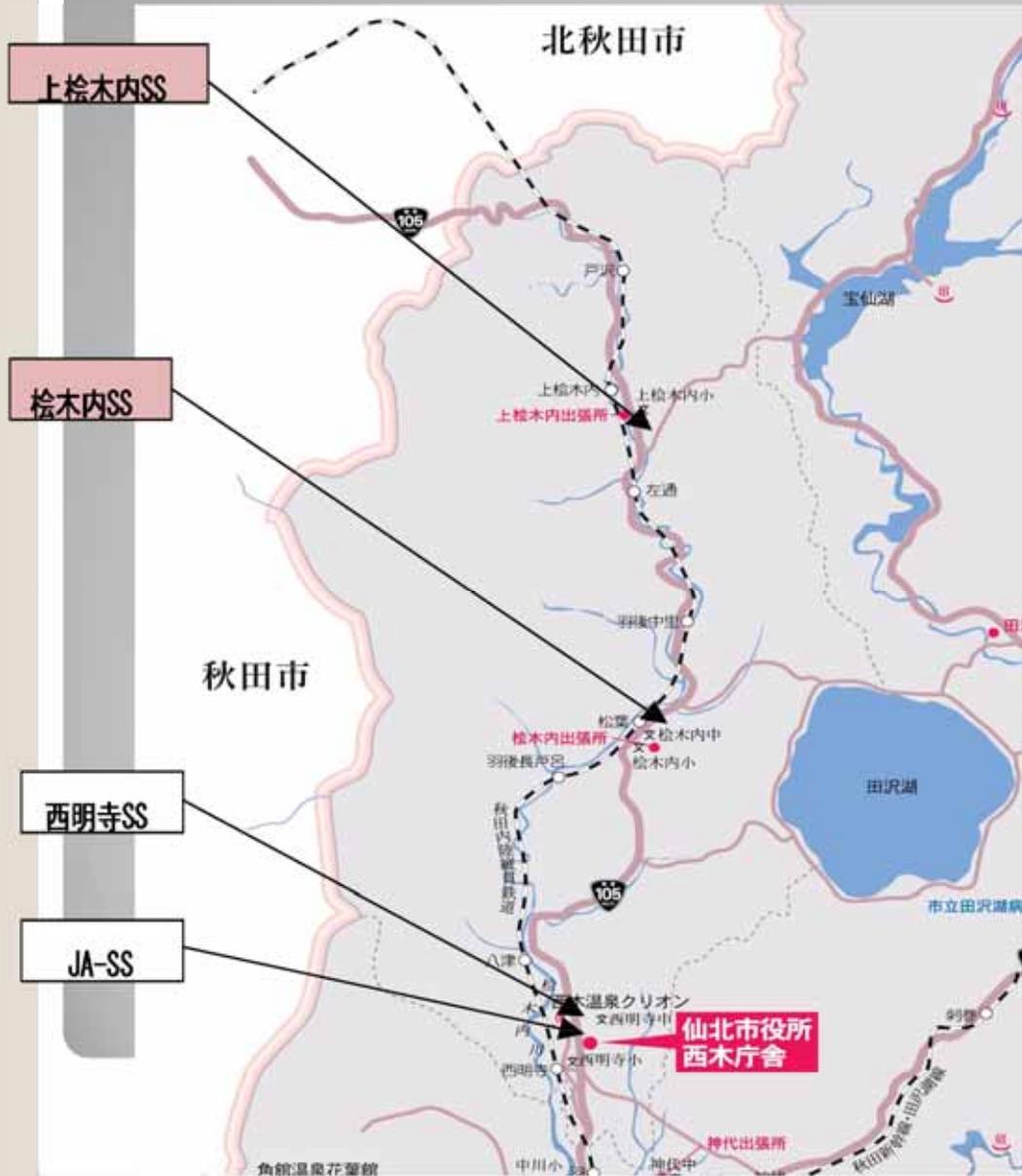


# SS過疎地域における 安定供給の取り組み

実証事業を活用した豪雪山間過疎地における  
SS経営の効率化・多角化  
秋田県仙北市 株式会社中央商会

平成29年5月  
一般財団法人 日本エネルギー経済研究所  
石油情報センター

# 対象SSの現状



中央商会は、この地域で唯一のSS（桧木内SSから最寄のSSまでは車で30分の距離）の責務として、豪雪山間地における高齢者世帯等への灯油配送等を行っているが、配送コスト・労力ともに大きな負担となっていた。

国道105号線上に「桧木内」、「上桧木内」の2カ所のSSを運営、約200世帯の灯油顧客を持つ。燃料油月間販売量は、5年平均で概ねR G 3 4 K L、軽油 2 3 K L、灯油 4 4 K L。売上に占める油外収入は約 1 . 5 %。（主に秋の米穀集荷・保管・販売）

# 配送合理化の実施

地域に唯一残るSSとしての責務を果たすため、灯油配送事業を継続するためにも、効率化による改善が求められる。

## 灯油備蓄支援・配送合理化スキーム



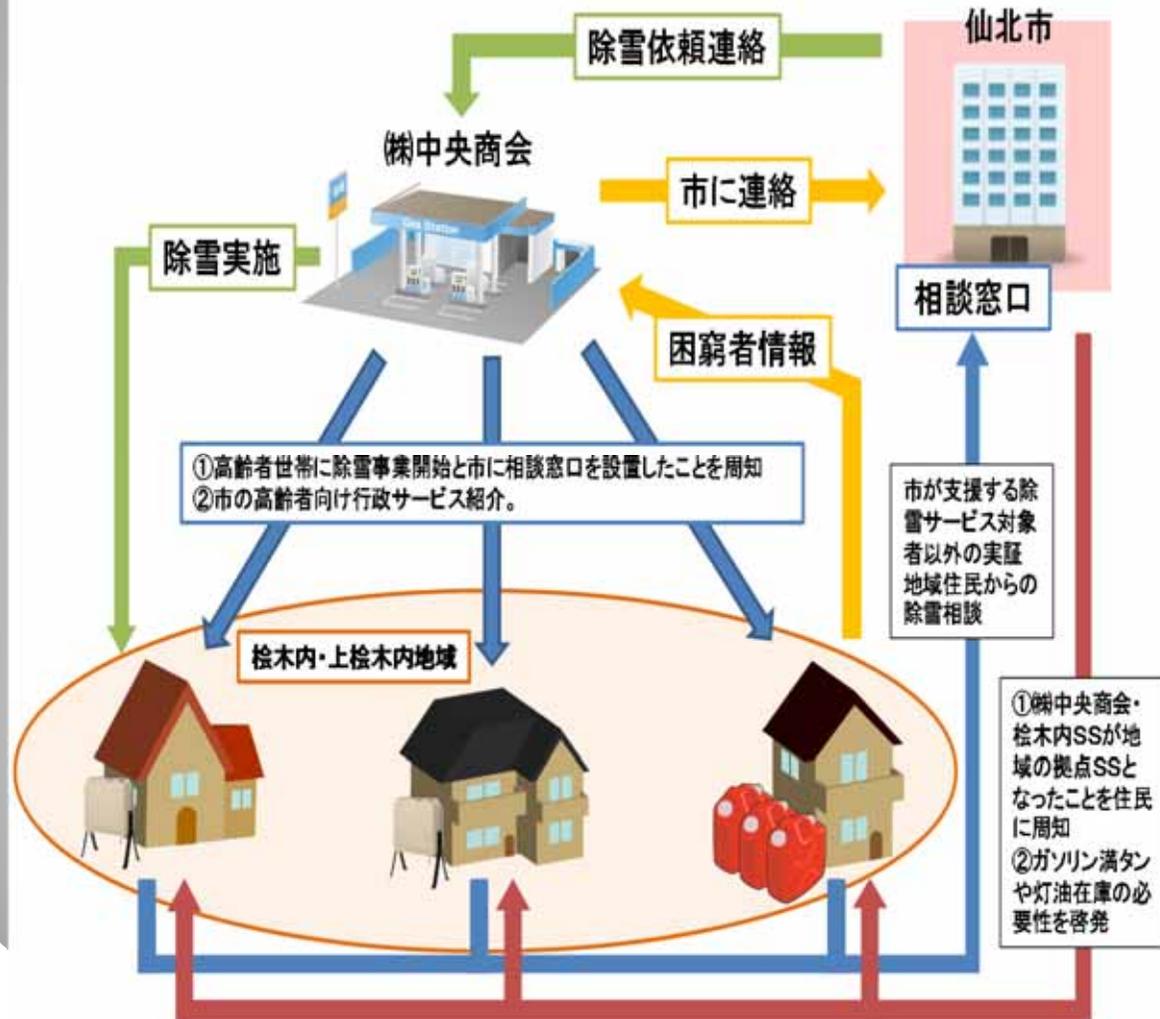
灯油配送の効率化を図るため、顧客を地区分けにし、配達日を固定することで効率化を図る。  
( 木曜日 金曜日 週2日 )

大型のホームタンクを貸与し、使用量分のみを補充し請求するメーターセールスにすることで、配送頻度を減らして効率化するとともに、顧客の利便性と供給体制を強化。

配送時間・配送コストを削減  
余裕時間を新規事業に振向け

# 除雪事業の開始

## 除雪事業・仙北市との協カスキーム



補助制度を活用し、  
除雪機を購入、  
除雪事業を開始する

仙北市との協カ・連携、  
除雪相談事業への参画

油外収益の確保  
効率化により生じた人員  
の余力で営業力を強化

# SSの拠点化



高精度油面計の設置



自家発電装置の設置



顧客の軒先備蓄量の増加を支援し、大雪、がけ崩れ等による孤立対策を強化

地域燃料供給拠点としての機能強化

自治体との連携強化

災害対応力の向上

実証事業参加の全世帯が地域に必要なSSとの認識

| 地域SSの必要性   |    |
|------------|----|
|            | 人数 |
| 必要         | 21 |
| どちらかといえば必要 | 0  |
| どちらでもない    | 0  |
| 無くて困らない    | 0  |
| 合計         | 21 |